



## ゲートキーパーの設定

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでのゲートキーパーの設定については、次のトピックを参照してください。

- 「ゲートキーパーの設定値」 (P.65-1)
- 「ゲートキーパーの同期化」 (P.65-3)
- 「関連項目」 (P.65-4)

### ゲートキーパーの設定値

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[デバイス (Device)] > [ゲートキーパー (Gatekeeper)] メニューパスを使用して、ゲートキーパーを設定します。

ゲートキーパー デバイスは、Cisco Multimedia Conference Manager (MCM) とも呼ばれ、コールアドミッション制御、帯域幅割り当て、およびダイヤルパターン解決 (コールルーティング) に使用される H.225 RAS (Registration, Admission, and Status Protocol) メッセージセットをサポートしています。ゲートキーパーは、Cisco Unified Communications Manager クラスタと H.323 ネットワークの間の通信のためにこれらのサービスを提供します。Cisco Unified Communications Manager クラスタごとに、複数のゲートキーパー デバイスを設定できます。冗長化のために代替ゲートキーパーを設定することもできます。代替ゲートキーパーの設定の詳細については、Cisco Multimedia Conference Manager (MCM) のマニュアルおよび『Cisco Unified Communications Solution Reference Network Design (SRND)』を参照してください。

ゲートキーパーの設定は、次の要素から構成されます。

- Cisco Unified Communications Manager の設定。各 Cisco Unified Communications Manager クラスタは、1 つまたは複数のゲートキーパーに登録できます。この章では、Cisco Unified Communications Manager でゲートキーパーを設定する方法について説明します。また、[トランクの設定 (Trunk Configuration)] ウィンドウでトランク デバイスを設定する必要があります。「[トランクの設定](#)」 (P.68-1) を参照してください。
- ルータ上でのゲートキーパーの設定。この設定は、ゲートキーパーの役目をする Cisco IOS Multimedia Conference Manager (MCM) に適用されます。ゲートキーパー用に推奨されるプラットフォームは、Cisco IOS リリース 12.1(3)T 以上を搭載した Cisco 2600、3600、7200 ルータなどです。ゲートキーパーの設定については、MCM のマニュアルを参照してください。代替ゲートキーパー設定は MCM だけで行うので、Cisco Unified Communications Manager での設定は必要ありません。



(注)

Cisco Unified Communications Manager クラスタごとに、複数のゲートキーパー デバイスを設定できます。

### ゲートキーパーの設定のヒント

Cisco Unified Communications Manager クラスタごとに、複数のゲートキーパー デバイスを設定できます。

### ゲートキーパーのリセットのヒント

ゲートキーパーをリセットする方法については、「[共通ボタンおよびアイコン](#)」(P.1-19) の [ 選択項目のリセット (Reset Selected) ] ボタンおよび [ リセット (Reset) ] ボタンの説明を参照してください。

ゲートキーパーのリセットによって、物理デバイスがリセットされるわけではありません。ゲートキーパーのリセットは、Cisco Unified Communications Manager のゲートキーパーへの論理接続のリセットおよびゲートキーパーへの再登録を強制します。再登録の間および再登録が正常終了するまで、このトランクを使用して行われるコールは、このゲートキーパーを使用しますが、失敗します。

ゲートキーパーをリセットすると、Cisco Unified Communications Manager クラスタは、ゲートキーパーへの登録を解除 (URQ) した後、再登録 (RRQ) します。



(注)

ゲートキーパーをリセットしても、ゲートキーパーが制御しているすべてのコールが終了するわけではありませんが、新しいコールの試行は失敗します。

次のトピックも参照できます。

- 「[ゲートキーパーの同期化](#)」(P.65-3)

### ゲートキーパーの削除のヒント

1 つまたは複数のトランクに割り当てられているゲートキーパーは、削除できません。ゲートキーパーを使用しているトランクを検索するには、[ ゲートキーパーの設定 (Gatekeeper Configuration) ] ウィンドウにある [ 関連リンク (Related Links) ] ドロップダウン リスト ボックスから [ 依存関係レコード (Dependency Records) ] を選択します。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[ 依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary) ] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、「[依存関係レコードへのアクセス](#)」(P.A-2) を参照してください。使用中のゲートキーパーを削除しようとすると、Cisco Unified Communications Manager からエラーメッセージが表示されます。現在使用されているゲートキーパーを削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除するゲートキーパーを使用しているトランクすべてに、別のゲートキーパーを割り当てます。「[トランクの設定](#)」(P.68-65) を参照してください。
- 削除するゲートキーパーを使用しているトランクを削除します。「[トランクの削除](#)」(P.68-67) を参照してください。

### GUI の使用方法

Cisco Unified Communications Manager の管理の Graphical User Interface (GUI; グラフィカル ユーザー インターフェイス) を使用してレコードを検索、削除、設定、またはコピーする方法については、「[Cisco Unified Communications Manager の管理アプリケーションでの操作](#)」(P.1-13) およびそのサブセクションを参照してください。GUI の使用方法とボタンおよびアイコンの機能の詳細が説明されています。

## 設定値表

表 65-1 では、ゲートキーパーの設定値について説明します。関連する手順については、「関連項目」(P.65-4) を参照してください。

表 65-1 ゲートキーパーの設定値

フィールド	説明
<b>[ゲートキーパー情報 (Gatekeeper Information)]</b>	
[ホスト名/IPアドレス (Host Name/IP Address)]	ゲートキーパーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。これは必須フィールドです。  Cisco Unified Communications Manager クラスタごとに、複数のゲートキーパーを登録できます。
[説明 (Description)]	ゲートキーパーの内容を表す名前を入力します。説明には、任意の言語で最大 50 文字を指定できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、バックスラッシュ (\)、または山カッコ (<>) は使用できません。
[登録要求の存続可能時間 (Registration Request Time to Live)]	Cisco TAC から指示される場合を除いて、この値を変更しないでください。時間を秒数で入力します。デフォルト値は 60 秒です。  [登録要求の存続可能時間 (Registration Request Time to Live)] フィールドは、ゲートキーパーが Registration Request (RRQ; 登録要求) を有効であると見なす時間を指定します。キープアライブ RRQ は、RRQ Time to Live の期限が切れる前に、ゲートキーパーへ送信される必要があります。  Cisco Unified Communications Manager は、ゲートキーパーに RRQ を送信して、そのゲートキーパーに登録し、その後、そのゲートキーパーとの接続を保持します。ゲートキーパーは、要求の確認 (RCF) または拒否 (RRJ) を行います。
[登録再試行のタイムアウト (Registration Retry Timeout)]	Cisco TAC から指示される場合を除いて、この値を変更しないでください。時間を秒数で入力します。デフォルト値は 300 秒です。  [登録再試行のタイムアウト (Registration Retry Timeout)] フィールドは、登録しようとして失敗した後、ゲートキーパーへの登録をやり直すまで、Cisco Unified Communications Manager が待機する時間を指定します。
[デバイスを有効にする (Enable Device)]	このチェックボックスを使用すると、このゲートキーパーを Cisco Unified Communications Manager に登録できます。デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。Cisco Unified Communications Manager からゲートキーパーの登録を解除するには、このチェックボックスをオフにします。このフィールドを更新してから約 1 分以内に、ゲートキーパーの登録は解除されます。

## 追加情報

「関連項目」(P.65-4) を参照してください。

## ゲートキーパーの同期化

ゲートキーパーを最新の設定変更と同期させる手順は、次のとおりです。この手順によって、中断を最小限に抑えた方法で未処理の設定が適用されます (たとえば、影響を受けるデバイスの一部は、リセットまたはリスタートが不要な場合があります)。

## 手順

- 
- ステップ 1** [デバイス (Device)] > [ゲートキーパー (Gatekeeper)] の順に選択します。  
[ゲートキーパーの検索と一覧表示 (Find and List Gatekeepers)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 使用する検索条件を選択します。
- ステップ 3** [検索 (Find)] をクリックします。  
検索条件に一致するゲートキーパーがウィンドウに表示されます。
- ステップ 4** 同期させるゲートキーパーの横にあるチェックボックスをオンにします。ウィンドウ内のゲートキーパーをすべて選択するには、検索結果表示のタイトルバーにあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** [選択項目への設定の適用 (Apply Config to Selected)] をクリックします。  
[設定情報の適用 (Apply Configuration Information)] ダイアログが表示されます。
- ステップ 6** [OK] をクリックします。
- 

## 追加情報

「[関連項目](#)」(P.65-4) を参照してください。

## 関連項目

- 「[ゲートキーパーの設定](#)」(P.65-1)
- 「[ゲートキーパーの設定値](#)」(P.65-1)
- 「[ゲートキーパーの同期化](#)」(P.65-3)
- 「[トランクの設定](#)」(P.68-1)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「[ゲートキーパーとトランク](#)」

## 参考資料

- 『Cisco Unified Communications Solution Reference Network Design (SRND)』
- Cisco IOS Multimedia Conference Manager (Command Reference) のマニュアル